



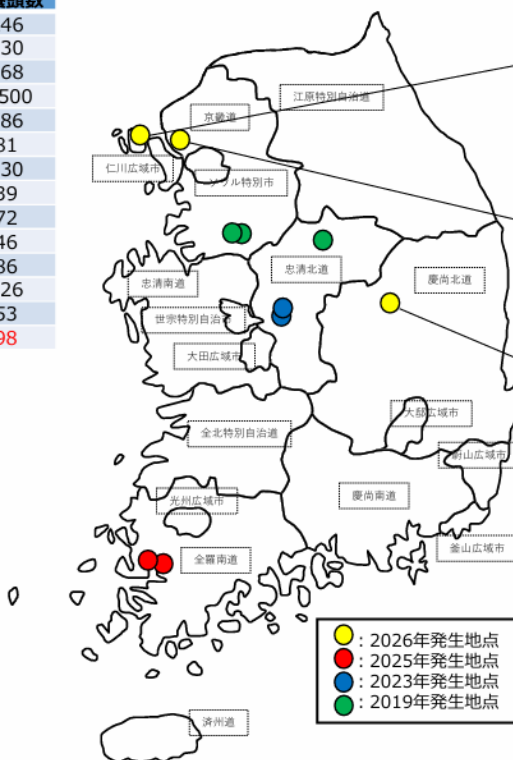
韓国で口蹄疫が発生！



今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国では、2026年1月に9ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

	発生日	場所	動物種	飼養頭数
1	'26/1/30	仁川 江華郡	牛	246
2	'26/2/20	京畿 高陽市	牛	130
3	'26/2/28	京畿 高陽市	牛	168
4	'26/7/3	慶北 醴泉郡	豚	5,500
5	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	186
6	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	81
7	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	130
8	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	39
9	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	72
10	'26/9/2	慶北 醴泉郡	牛	46
11	'26/9/2	慶北 醴泉郡	牛	86
12	'26/9/14	仁川 江華郡	牛	126
13	'26/9/16	仁川 江華郡	牛	53
14	'26/10/3※	慶北 醴泉郡	牛	98



仁川広域市（3件）
2026年1月30日
江華郡 牛：1件（O型）
2026年9月14日
江華郡 牛：1件（O型）
2026年9月16日
江華郡 牛：1件（O型）

京畿道（2件）
2026年2月20日
高陽市 牛：1件（O型）
2026年2月28日
高陽市 牛：1件（O型）

慶尚北道（9件）
2026年7月3日
醴泉郡 豚：1件（O型）
牛：5件（O型）
2026年9月2日
醴泉郡 牛：2件（O型）
2026年10月3日（※）
醴泉郡 牛：1件（血清型確認中）

●：2026年発生地点
●：2025年発生地点
●：2023年発生地点
●：2019年発生地点

2026年10月6日時点
農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部、WOAH
注：日付はWOAH報告の発生日（※：WOAH未報告の場合は韓国当局公表日）
頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

牛農家の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- ☐ 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- ☐ 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- ☐ **畜舎専用の靴の着用**や**畜舎出入口に踏込消毒槽等**を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒を徹底**しましょう。
- ☐ 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- ☐ **毎日、飼養家畜の健康観察**を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



裏面も
チェック！



専用の衣服・靴等の着用や効果的な消毒を実施しましょう！

- ・ 衛生管理区域に立ち入る場合には、**専用の靴や衣服を着用し、手指消毒を実施**しましょう。
- ・ 畜舎ごとに**専用の靴または踏込消毒を設置し、**使用しましょう。



専用の服や靴の使用、手指消毒

◎効果的な消毒のポイント

- ・ 踏込消毒槽の消毒液は、汚れて効果が薄れるので、**まずは汚れを落としてから消毒**しましょう。また、**消毒薬が汚れていたら、直ちに交換**しましょう。
- ・ 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分まで消毒**し、衛生管理区域内で降車する場合は**農場専用のフロアマット等の使用や車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒**を実施しましょう。



推奨される踏込消毒槽の設置方法！

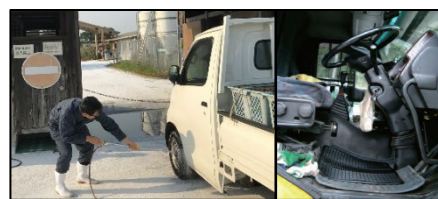
②消毒液の槽



①水洗の槽



汚れをしっかりと落としてから消毒！



車両はタイヤだけでなく、**泥よけの内側まで消毒**し、**フロアマットの交換**や**ペダル等車内も消毒**

《要注意》

- ★ **逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適**です！
- ★ 消毒効果が弱まるので、**酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと**！

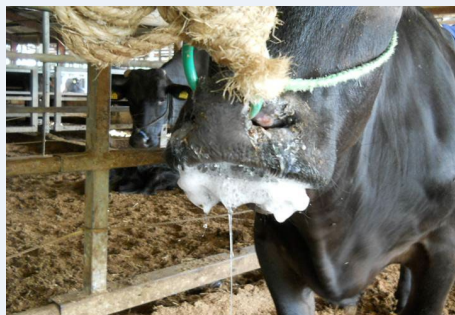
疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

＜A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果＞

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

写真：動物衛生研究部門提供

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に**連絡**しましょう。

牛では、**1頭のみに着目せず**、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。

連絡先：

最寄りの家畜保健衛生所の
連絡先を記入しておきましょう！